

## DIAMグローバル・ハイールド・ボンド・ファンド・通貨選択シリーズ

＜資源国通貨バスケットコース＞  
 ＜ブラジルリアルコース＞  
 ＜円コース＞

## 追加型投信/海外/債券

月次運用レポート  
 2012年5月

**ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

この投資信託は、高水準のインカムゲインの確保と、信託財産の成長をめざして運用を行います。

「DIAMグローバル・ハイールド・ボンド・ファンド・通貨選択シリーズ」は、以下3つの通貨コースで構成される投資信託です。

＜資源国通貨バスケットコース＞、＜ブラジルリアルコース＞、＜円コース＞

当ファンドにおいて資源国通貨バスケットとは、豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドの各通貨に原則として3分の1程度ずつ配分したものをいいます。

主として世界のハイールド債券に実質的に投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と、信託財産の成長をめざして運用を行います。

・各通貨コースは、外国投資信託であるグローバル・ハイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクションへの投資を通じて、世界のハイールド債券に投資します。

・ハイールド債券の運用は、ファンダメンタル分析に基づくボトムアップ・アプローチを用いて、ジャンナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーが行います。

当ファンドにおいてハイールド債券とは、S&P、ムーディーズ、フィッチのいずれかの格付会社によって、BB格相当以下に格付されている債券をさします。

各通貨コースは、「グローバル・ハイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション」の他に、「DIAMマネーマザーファンド」にも投資します。

お客さまのご投資ニーズに合わせて3つの通貨コースから選択することができます。

毎月決算を行い、原則として利子配当等収益等を中心に安定分配をめざします。

・毎月19日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。

・「原則として利子配当等収益等を中心に安定分配をめざす」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。

分配金が支払われない場合もあります。

資金動向、市況動向等によっては、上記の運用ができない場合があります。

**当資料は10枚ものです。P.10の「当資料のお取扱いについてのご注意」を必ずご確認ください。  
 なお、別紙1～3も併せてご確認ください。**

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



商号等： DIAMアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第324号

加入協会： 社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会

**DIAMグローバル・ハイールド・ボンド・ファンド・通貨選択シリーズ**  
**<資源国通貨バスケットコース> <ブラジルレアルコース> <円コース>**  
**追加型投信/海外/債券**  
**月次運用レポート(2012年5月)**

**主な投資リスクと費用(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、下記の主な変動要因により、基準価額が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。各ファンドの運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。**

なお、基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

金利リスク..... 一般的に金利が上昇すると債券の価格は下落します。ファンドは、実質的に債券に投資をしますので、金利変動により基準価額が上下します。各通貨コースが実質的に投資するハイールド債券は、こうした金利変動の影響をより大きく受ける可能性があります。

為替リスク..... 各通貨コース(円コースを除く)  
各通貨コースの主要投資対象である外国投資信託では原則として、実質的な投資資産の発行通貨(米ドル)を売り予約し、各通貨コースごとの通貨(以下、「ヘッジ対象通貨」といいます。)を買い予約する為替取引を行います。しかし、米ドルの為替変動の影響を完全に排除できるものではありません。加えてヘッジ対象通貨の対円で為替変動の影響を大きく受けます。この場合、ヘッジ対象通貨に対して円高になった場合には基準価額が下がる要因となります。また、いずれの通貨コースにおいてもヘッジ対象通貨の金利が米ドルの金利より低い場合、その金利差相当分のコストがかかることにご注意ください。

**円コース**

円コースの主要投資対象である外国投資信託では原則として、対円で為替ヘッジを行い為替リスクの低減を図りますが、為替リスクを完全に排除できるものではなく、米ドルの為替変動の影響を受ける場合があります。また、円の金利が米ドルの金利よりも低い場合、その金利差相当分のコストがかかることにご注意ください。

資源国通貨バスケットコース(うちブラジルレアルのみ)、ブラジルレアルコースについては、為替ヘッジにあたり為替予約取引と類似する直物為替先渡取引(NDF)を利用します(2011年11月現在)。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待、当該国の資本規制や税制等により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。この結果、ファンドの投資成果は、実際の為替市場や金利市場から想定されるものと大きく乖離する場合があります。

外国為替市場の混乱等により為替予約取引やNDF取引が行えなくなった場合、ヘッジ対象通貨の為替への投資ができなくなる等ファンドの投資方針に沿った運用ができなくなる場合があります。特にNDF取引は為替予約取引に比べ当該国の資本規制や税制等の影響により流動性が乏しくなることがあることから、そのリスクが高くなります。

米ドル建以外の通貨建資産に投資を行った場合には、原則として対米ドルでの為替ヘッジを行います。為替リスクを完全に排除できるものではなく、米ドル以外の通貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、当該米ドル建以外の通貨と米ドルの金利差によるヘッジプレミアム/ヘッジコストが発生します。

信用リスク..... 実質的に投資する債券や短期金融商品等の発行者が経営不安・倒産に陥った場合、またこうした状況に陥ると予想される場合等には基準価額が下がる要因となります。各通貨コースが実質的に投資するハイールド債券は、格付の高い債券に比べてこうしたリスクがより高いものになると想定されます。

流動性リスク..... ファンドは、実質的に市場規模が小さい債券等に投資する場合があります。そのような市場では、資産規模や取引量が少ないため売却時に市場実勢から期待される価格で売却できなかったり、売買取引が困難となることから、価格の値動きが大きくなる場合があります。基準価額に影響をおよぼす可能性があります。

カントリーリスク..... 実質的な投資対象国・地域における政治・経済情勢の変化等によっては、運用上の制約を受ける可能性があり、基準価額が下がる要因となります。

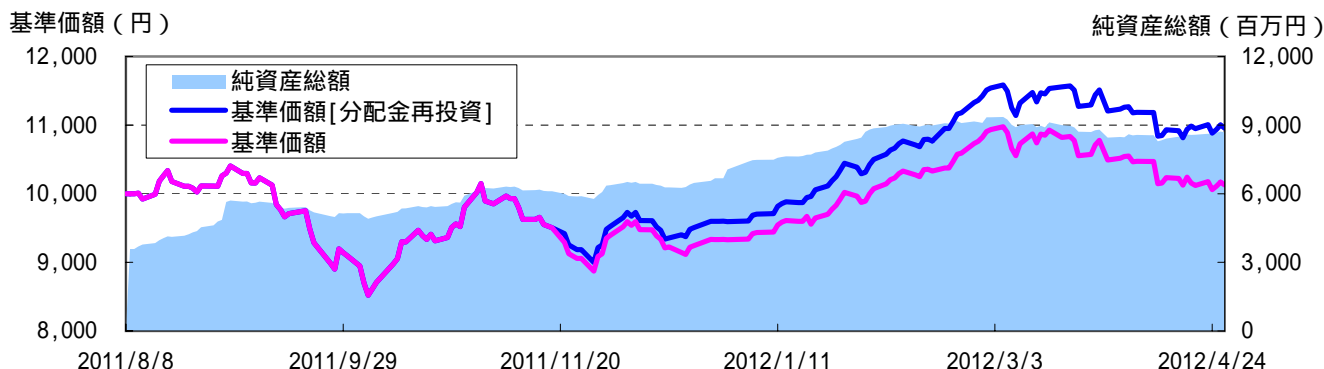
各ファンドへの投資に伴う主な費用は購入時手数料、信託報酬などです。

費用の詳細につきましては、当資料中の「お客様にご負担いただく費用について」および投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**D I A Mグローバル・ハイールド・ボンド・ファンド・通貨選択シリーズ**  
**<資源国通貨バスケットコース> <ブラジルレアルコース> <円コース>**  
**追加型投信/海外/債券**  
**月次運用レポート(2012年5月)**

**<資源国通貨バスケットコース>**

**運用実績の推移**



基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。  
 基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)  
 ( 決算日の当日基準価額は税引前分配金込み )  
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。  
 ( 設定日：2011年8月9日 )  
 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

**基準価額・純資産総額**

基準価額	10,127 円
純資産総額	8,684 百万円

**ポートフォリオ構成**

グローバル・ハイールド・ボンド・ファンド・ カレンシー・セレクション (円建資源国通貨バスケットヘッジクラス)	97.7%
D I A Mマネーマザーファンド	0.1%
現金等	2.2%

比率は純資産総額に対する割合です。

**騰落率(税引前分配金再投資)**

	1カ月 (2012/03/30)	3カ月 (2012/01/31)	6カ月 (2011/10/31)	設定来 (2011/08/09)
当ファンド	-2.22%	6.46%	9.35%	9.56%

1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。  
 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

**分配金実績(税引前)**

直近3年分

第1期 (2011.09.20)	0 円
第2期 (2011.10.19)	0 円
第3期 (2011.11.21)	130 円
第4期 (2011.12.19)	130 円
第5期 (2012.01.19)	130 円
第6期 (2012.02.20)	130 円
第7期 (2012.03.19)	130 円
第8期 (2012.04.19)	130 円
累計分配金	780 円

1 分配金は1万口当たり  
 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。  
 分配金が支払われない場合もあります。

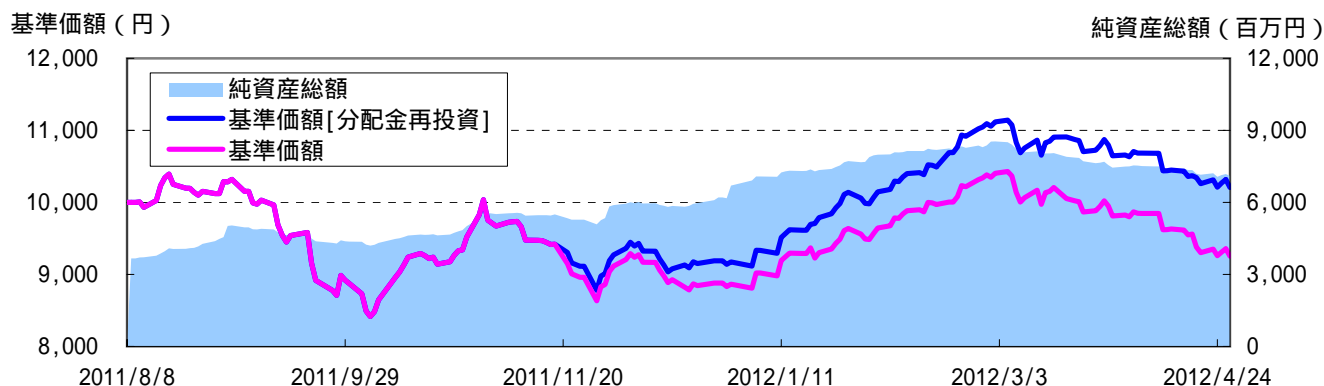
当資料は10枚ものです。  
 P.10の「当資料のお取り扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は  
**D I A Mアセットマネジメント**  
 D I A M  
 グイアム

**D I A Mグローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・通貨選択シリーズ**  
**<資源国通貨バスケットコース> <ブラジルリアルコース> <円コース>**  
**追加型投信/海外/債券**  
**月次運用レポート(2012年5月)**

**<ブラジルリアルコース>**

**運用実績の推移**



基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。  
 基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)  
 ( 決算日の当日基準価額は税引前分配金込み )  
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。  
 ( 設定日：2011年8月9日 )  
 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

**基準価額・純資産総額**

基準価額	9,254 円
純資産総額	7,108 百万円

**ポートフォリオ構成**

グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション(円建ブラジルリアルヘッジクラス)	97.6%
D I A Mマネーマザーファンド	0.1%
現金等	2.3%

比率は純資産総額に対する割合です。

**騰落率(税引前分配金再投資)**

	1カ月 (2012/03/30)	3カ月 (2012/01/31)	6カ月 (2011/10/31)	設定来 (2011/08/09)
当ファンド	-4.13%	2.19%	3.84%	2.06%

1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。  
 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

**分配金実績(税引前)**

**直近3年分**

第1期 (2011.09.20)	0 円
第2期 (2011.10.19)	0 円
第3期 (2011.11.21)	155 円
第4期 (2011.12.19)	155 円
第5期 (2012.01.19)	155 円
第6期 (2012.02.20)	155 円
第7期 (2012.03.19)	155 円
第8期 (2012.04.19)	155 円
累計分配金	930 円

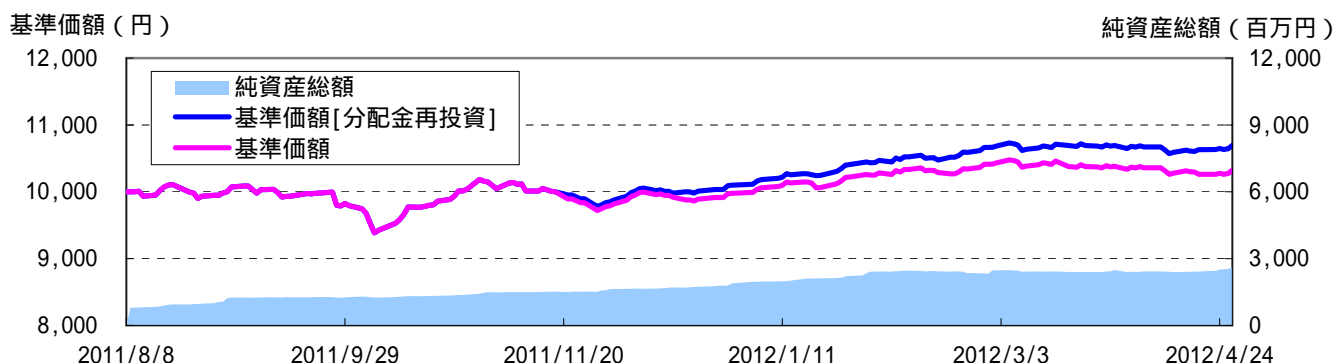
1 分配金は1万口当たり  
 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

当資料は10枚ものです。  
 P.10の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

**D I A Mグローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・通貨選択シリーズ**  
**<資源国通貨バスケットコース> <ブラジルレアルコース> <円コース>**  
**追加型投信/海外/債券**  
**月次運用レポート(2012年5月)**

**<円コース>**

**運用実績の推移**



基準価額[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の基準価額とは異なります。  
 基準価額[分配金再投資] = 前日基準価額[分配金再投資] × (当日基準価額 ÷ 前日基準価額)  
 ( 決算日の当日基準価額は税引前分配金込み )  
 基準価額は信託報酬控除後です。なお、信託報酬率は「お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。  
 ( 設定日：2011年8月9日 )  
 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

**基準価額・純資産総額**

基準価額	10,323 円
純資産総額	2,609 百万円

**ポートフォリオ構成**

グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション(円建円ヘッジクラス)	97.8%
D I A Mマネーマザーファンド	0.0%
現金等	2.2%

比率は純資産総額に対する割合です。

**騰落率(税引前分配金再投資)**

	1カ月 (2012/03/30)	3カ月 (2012/01/31)	6カ月 (2011/10/31)	設定来 (2011/08/09)
当ファンド	0.02%	2.40%	5.01%	6.96%

1 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと算出しておりますので、実際の投資家利回りとは異なります。  
 2 上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

**分配金実績(税引前)**

直近3年分

第1期 (2011.09.20)	0 円
第2期 (2011.10.19)	0 円
第3期 (2011.11.21)	60 円
第4期 (2011.12.19)	60 円
第5期 (2012.01.19)	60 円
第6期 (2012.02.20)	60 円
第7期 (2012.03.19)	60 円
第8期 (2012.04.19)	60 円
累計分配金	360 円

1 分配金は1万口当たり  
 2 上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
 3 分配金額は、分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

当資料は10枚ものです。  
 P.10の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

**DIAMグローバル・ハイールド・ボンド・ファンド・通貨選択シリーズ**  
 <資源国通貨バスケットコース> <ブラジルリアルコース> <円コース>  
 追加型投信/海外/債券  
 月次運用レポート(2012年5月)

**グローバル・ハイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション**

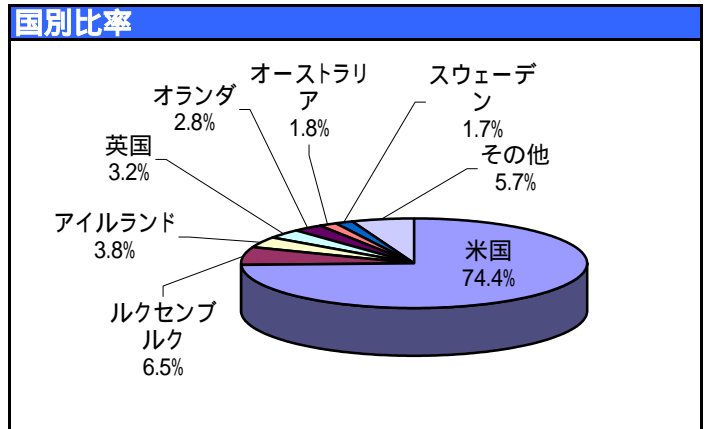
ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーの現地月末データを基に作成しています。

ポートフォリオ構成	
債券等	96.5%
現金等	3.5%

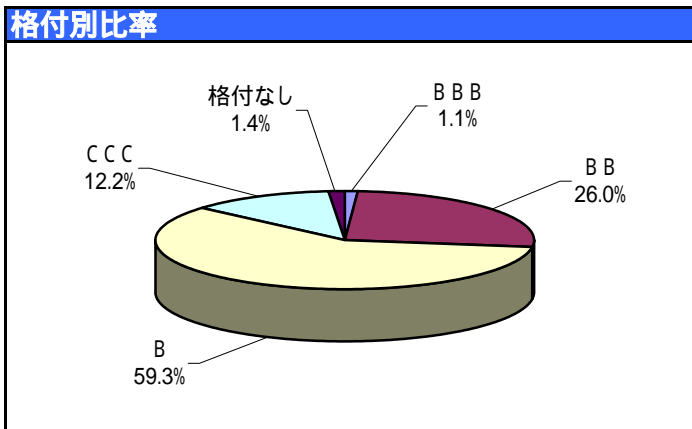
比率は純資産総額に対する割合です。

ポートフォリオの状況	
平均クーポン	8.07%
平均最終利回り	7.53%
平均残存期間(年)	7.08
デュレーション	3.98
組入銘柄数	159

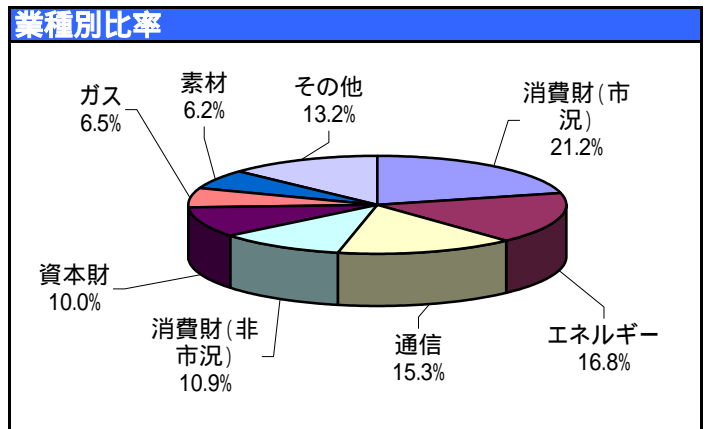
純資産総額を基に計算しています。



- 1 比率は組入債券評価額に対する割合です。
- 2 発行国を基に分類しています。



- 1 比率は組入債券評価額に対する割合です。
- 2 格付については、S&P社による格付を採用しています。また、+・-等の符号は省略して表記しています。



- 1 比率は組入債券評価額に対する割合です。
- 2 業種分類はパークレイズ・インデックスに基づいて表示しています。

組入上位10銘柄						
No	銘柄名	発行国	クーポン	償還日	業種	比率
1	ADS TACTICAL INC	米国	11.000%	2018/4/1	資本財	2.60%
2	AMERISTAR CASINOS INC	米国	7.500%	2021/4/15	消費財(市況)	2.34%
3	JAGUAR LAND ROVER PLC	英国	8.125%	2018/5/15	消費財(市況)	2.11%
4	ARDAGH PACKAGING FINANCE	アイルランド	9.250%	2020/10/15	資本財	2.10%
5	LINN ENERGY LLC/FIN CORP	米国	6.500%	2019/5/15	エネルギー	1.61%
6	ROUSE COMPANY	米国	6.750%	2015/11/9	REIT	1.47%
7	CAPSUGEL FINANCECO SCA	ルクセンブルク	9.875%	2019/8/1	消費財(非市況)	1.45%
8	BEVERAGE PACKAGING HOLD	ルクセンブルク	9.500%	2017/6/15	資本財	1.33%
9	FORD MOTOR COMPANY	米国	7.450%	2031/7/16	消費財(市況)	1.32%
10	PILGRIM'S PRIDE CORP	米国	7.875%	2018/12/15	消費財(非市況)	1.32%

- 1 比率は組入債券評価額に対する割合です。
- 2 業種分類はパークレイズ・インデックスに基づいて表示しています。

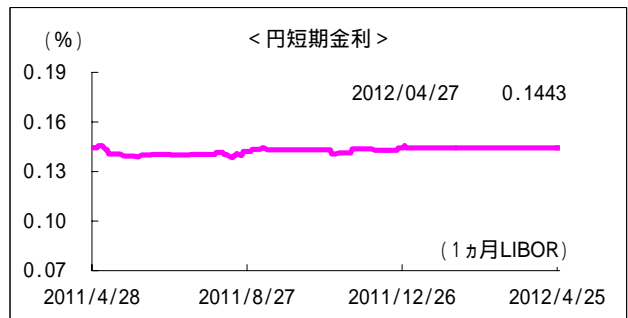
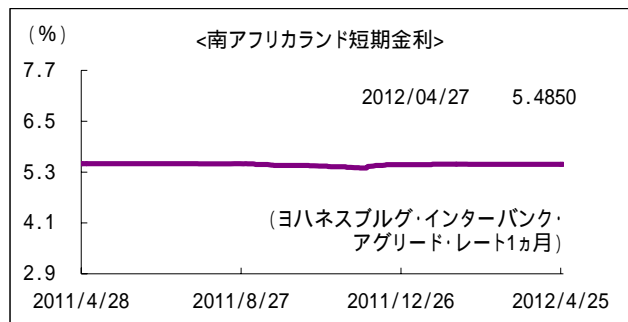
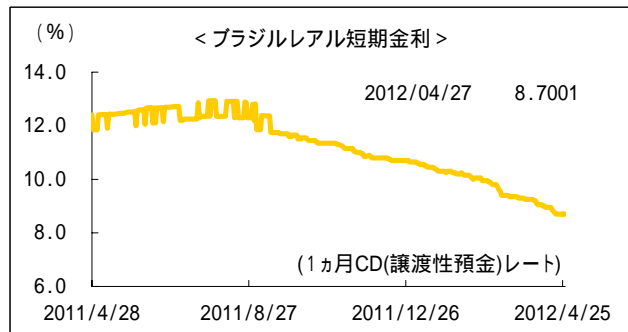
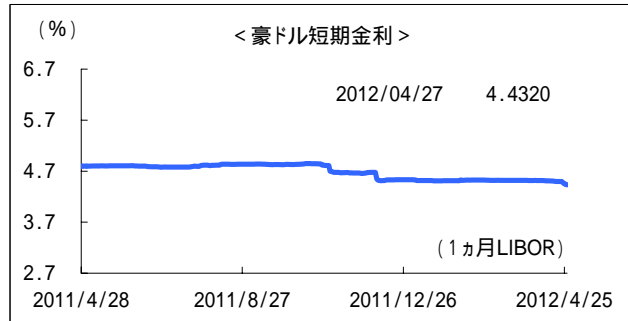
当資料は10枚ものです。  
 P.10の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

DIAMグローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・通貨選択シリーズ  
 <資源国通貨バスケットコース> <ブラジルレアルコース> <円コース>  
 追加型投信/海外/債券  
 月次運用レポート(2012年5月)

各国の短期金利と為替の推移(直近1年)

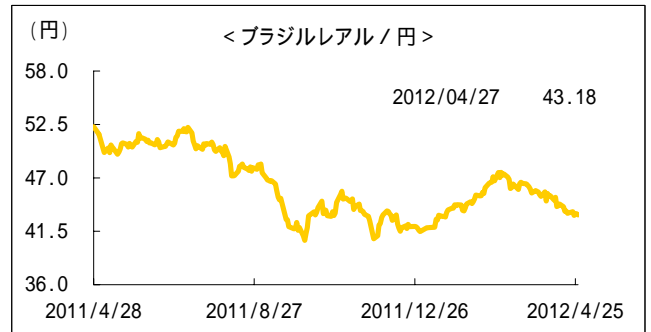
短期金利

金利はBloombergのデータを基に作成しています。



為替

為替レートはTTM(東京外国為替市場の対顧客電信仲値)を使用しています。



資源国通貨は、豪ドル、ブラジルレアル、南アフリカランドに3分の1ずつ配分したものとして、日次騰落率を指数化した合成指数を示しています。なお、基準日の1年前の値を100としています。

為替ヘッジプレミアム/コスト(対米ドル)

資源国通貨バスケット	ブラジルレアル	円
5.97%	8.46%	-0.09%

1 左記の為替ヘッジプレミアム/コストは基準日時点の米ドルとの短期金利差であり、実際の為替ヘッジプレミアム/コストとは異なります。  
 2 資源国通貨バスケットの為替ヘッジプレミアム/コストの算出に使用した短期金利は豪ドル、ブラジルレアル、南アフリカランドの各通貨に3分の1ずつ配分したものとして計算しています。

当資料は10枚ものです。  
 P.10の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は  
**DIAM**アセットマネジメント



DIAMグローバル・ハイールド・ボンド・ファンド・通貨選択シリーズ  
 <資源国通貨バスケットコース> <ブラジルレアルコース> <円コース>  
 追加型投信/海外/債券  
 月次運用レポート(2012年5月)

### 当月のマーケット動向とファンドの動き

4月の世界のハイールド債券市場は、欧州債務問題の再燃、米国の景気回復および中国の経済成長に対する減速懸念を背景に、弱含む局面もありましたが、わずかに上昇しました。月前半は、スペインの国債利回りが急上昇し、欧州債務問題の根本的な解決には程遠いことが鮮明となりました。スペイン政府は、高い失業率と景気減速にもかかわらず新たな緊縮財政政策を打ち出しましたが、その後発表された1-3月期のGDP(国内総生産)(速報値)が2四半期連続でマイナス成長となり、景気後退局面に入ったことが確認されました。また、ギリシャ、スペイン、チェコの反政府デモや、フランス大統領選挙における社会党候補の予想外の健闘、財政再建協議の決裂によるオランダの内閣総辞職など、欧州周辺国では緊縮財政政策に対する反発が強まっています。米国では、非農業部門雇用者数、住宅販売件数などが前月比で市場予想を下回り、景気回復の減速懸念が台頭しました。こうした環境下、米国の10年国債利回りは低下(価格は上昇)しました。米国および欧州のハイールド債券の信用スプレッド(国債に対する上乘せ利回り)は拡大しました。

#### 【オーストラリア】

アジアからの強い需要を背景に資源関連産業は堅調であるものの、中国経済の減速懸念や不安定な状況にある欧州債務問題など世界経済に下振れリスクが見られるため、市場では、5月1日に予定されている金融政策決定会合において政策金利の引き下げが予想されています。また、インフレ率は今後も中央銀行の目標レンジ内を安定して推移すると予想されていることも、利下げの可能性を高めます。豪ドルは対円で下落しました(なお、為替については、ロンドンの月末前日を基準として記載しています(以下同じ))。

#### 【ブラジル】

中央銀行は事前予想通り政策金利を9.00%へと0.75%引き下げました。同国経済は引き続き堅調ではあるものの、欧州債務問題を中心とする外部の不透明要因からの悪影響を抑えるためのものであり、中央銀行は今後も必要であれば利下げを実施するという姿勢を示しています。直近のインフレ率は前年比5.24%まで低下していますが、雇用環境が引き続きひっ迫していることから、賃金の上昇圧力の強まりが懸念されています。ブラジルレアルは対円で下落しました。

#### 【南アフリカ】

政策金利は5.50%で据え置かれています。3月のインフレ率は前年比6.0%へ低下したものの、中央銀行の目標レンジの上限値であり、引き続きインフレに対する懸念は強く残っています。但し、欧州債務問題や世界経済の不透明感が同国経済に与える影響が懸念されており、中央銀行は現在の金融政策スタンスは適切とする景気重視の姿勢を示しています。南アフリカランドは対円で下落しました。

#### 【米国】

3月の雇用者数が予想を下回る結果になるなど、米国経済の先行きに対する不透明感が広がっています。但し、企業業績は堅調であり、同国経済は引き続き緩やかに回復していくことを予想しています。FRB(米連邦準備理事会)が少なくとも2014年終盤までは現在の低金利政策を維持するという見通しを示していることから、当面の間、金利は低水準で推移するものと考えています。米ドルは対円で下落しました。

上記の価格変動要因を理由に、各コースの基準価額は前月末比で資源国通貨バスケットコースは 2.22%、ブラジルレアルコースは 4.13%、円コースは+0.02%となりました。

### 今後のマーケットの見通しと運用方針

ハイールド債券を含めリスク性資産には、短期的には引き続き上昇余地があると見られる一方、中期的には金利上昇の可能性が懸念され、今後の金利上昇の度合いが、リスク性資産の行方を左右すると見えています。こうした見方を勘案し、当ファンドでは、過去3ヵ月間のハイールド債券市場の上昇局面を、目標価格に達した銘柄の利益確定の機会と捉えて売却し、また、市場感応度の高い比較的価格付の銘柄の組入比率を引き下げるなど、ポートフォリオの見直しを行ってきました。更に、市場の調整局面に備え、下振れリスクの比較的低い銘柄を継続して保有し、リスクの低減を図っています。

依然として世界的な不均衡が市場の信頼感を揺さぶっているため、年明けから続いていたハイールド債券市場の力強い上昇は、今後緩やかになると見えています。その中で、企業の財務内容の改善と保守的な財務運営の継続による堅調なファンダメンタルズに加えて、低金利環境下における投資家の高利回り志向に下支えされ、ハイールド債券市場は引き続き魅力的な投資機会を提供していると見えています。

上記のマーケット動向と当ファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

当資料は10枚ものです。  
 P.10の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

DIAMアセットマネジメント



**DIAMグローバル・ハイールド・ボンド・ファンド・通貨選択シリーズ**  
**<資源国通貨バスケットコース> <ブラジルリアルコース> <円コース>**  
**追加型投信/海外/債券**  
**月次運用レポート(2012年5月)**

**お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

購入単位	各販売会社が定める単位(当初元本:1口=1円)
購入価額	お申込日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	お申込みをされた販売会社が定める所定の日までに購入代金を販売会社に支払うものとします。
換金単位	各販売会社が定める単位
換金価額	換金のお申込日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として換金のお申込日より起算して7営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として販売会社の毎営業日の午後3時までとします。
購入・換金不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日またはロンドンの銀行の休業日のいずれかに該当する場合には、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を行いません。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求に制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けた購入・換金・スイッチングのお申込みの受付を取り消す場合があります。
信託期間	2021年5月19日までです。(設定日:2011年8月9日)
繰上償還	主要投資対象とする外国投資信託が存続しないこととなった場合は、信託契約を解約し、信託を終了させます。次のいずれかに該当する場合等には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し、当該信託を終了する場合があります。受益者のために有利であると認める場合。各ファンドにつき受益権口数が30億口を下回ることとなった場合。やむを得ない事情が発生した場合。
決算日	原則として毎月19日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年12回、毎決算時に、収益分配方針に基づき、収益分配を行います。 「分配金受取コース」の場合、決算日から起算して原則として5営業日までにお支払いを開始します。 「分配金再投資コース」の場合、税引後、無手数料で自動的に全額が再投資されます。
スイッチング	「DIAMグローバル・ハイールド・ボンド・ファンド・通貨選択シリーズ」を構成する各ファンド間でスイッチングができます。スイッチングの際には、ご換金時と同様の費用・税金および各販売会社が定める手数料・税金がかかります。 販売会社によってはスイッチングのお取扱いをしない場合がありますのでご留意下さい。スイッチングのお取扱い等、くわしくは販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更となることがあります。

**お客様にご負担いただく費用について(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)**

以下の手数料等の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

購入時	
購入時手数料	購入価額に <b>3.675%(税抜3.5%)</b> を上限として各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 くわしくは販売会社にお問い合わせください。
スイッチング時	
スイッチング手数料	各通貨コースへのスイッチングによる <b>ご購入価額に3.675%(税抜3.5%)</b> を上限として各販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。くわしくは販売会社までお問い合わせください。
換金時	
換金手数料	<b>ありません。</b>
信託財産留保額	<b>ありません。</b>
保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
運用管理費用(信託報酬)	実質的な運用管理費用(信託報酬): <b>信託財産の純資産総額に対して年率1.62975%(税抜1.58%)(概算)</b> ・各通貨コース: 信託財産の純資産総額に対して年率1.04475%(税抜0.995%) ・投資先外国投資信託: 投資先外国投資信託の純資産総額に対して年率0.585%程度 外国投資信託の信託報酬には、年間最低報酬額が定められている場合があり、純資産総額等によっては年率換算で上記の信託報酬率を上回る場合があります。
その他費用・手数料	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、信託事務の諸費用、監査費用、外国での資産の保管等に要する諸費用等が信託財産から支払われます。(その他費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。)

当資料は10枚ものです。

P.10の「当資料のお取扱いについてのご注意」をご確認ください。

設定・運用は

**DIAMアセットマネジメント**



**D I A Mグローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・通貨選択シリーズ**  
**<資源国通貨バスケットコース> <ブラジルリアルコース> <円コース>**  
**追加型投信/海外/債券**  
**月次運用レポート(2012年5月)**

**投資信託ご購入の注意**

投資信託は、

預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。

購入金額については元本保証および利回り保証のいずれもありません。

投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

**当資料のお取扱いについてのご注意**

当資料は、D I A Mアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。

お申込みに際しては、販売会社からお渡する投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

当資料はD I A Mアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その情報の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また、掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

当資料に記載されている運用実績は税引前分配金を再投資したものとする基準価額の変化を示したものであり、税金および手数料は計算に含まれておりません。

当資料における内容は作成時点(2012年5月16日)のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

各ファンドは、実質的に債券等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

**ファンドの関係法人**

<委託会社> D I A Mアセットマネジメント株式会社

<受託会社> みずほ信託銀行株式会社

<販売会社> 販売会社一覧をご覧ください

**委託会社の照会先**

D I A Mアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-506-860

(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

ホームページ URL <http://www.diam.co.jp/>

**販売会社(お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください)**

印は協会への加入を意味します。

2012年5月16日現在

商号	登録番号等	日本証券業協会	社団法人日本証券投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	備考
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号					

その他にもお取扱いを行っている販売会社がある場合があります。

また、上記の販売会社は今後変更となる場合があるため、販売会社または委託会社の照会先までお問い合わせください。

<備考欄について>

- 1 新規募集の取扱いおよび販売業務を行っておりません。
- 2 備考欄に記載されている日付からのお取扱いとなりますのでご注意ください。
- 3 備考欄に記載されている日付からお取扱いを行いませんのでご注意ください。

(原則、金融機関コード順)

当資料は10枚ものです。

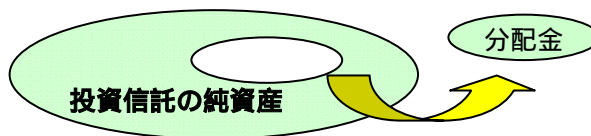
設定・運用は

**D I A Mアセットマネジメント**



投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。

投資信託から分配金が支払われるイメージ



分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

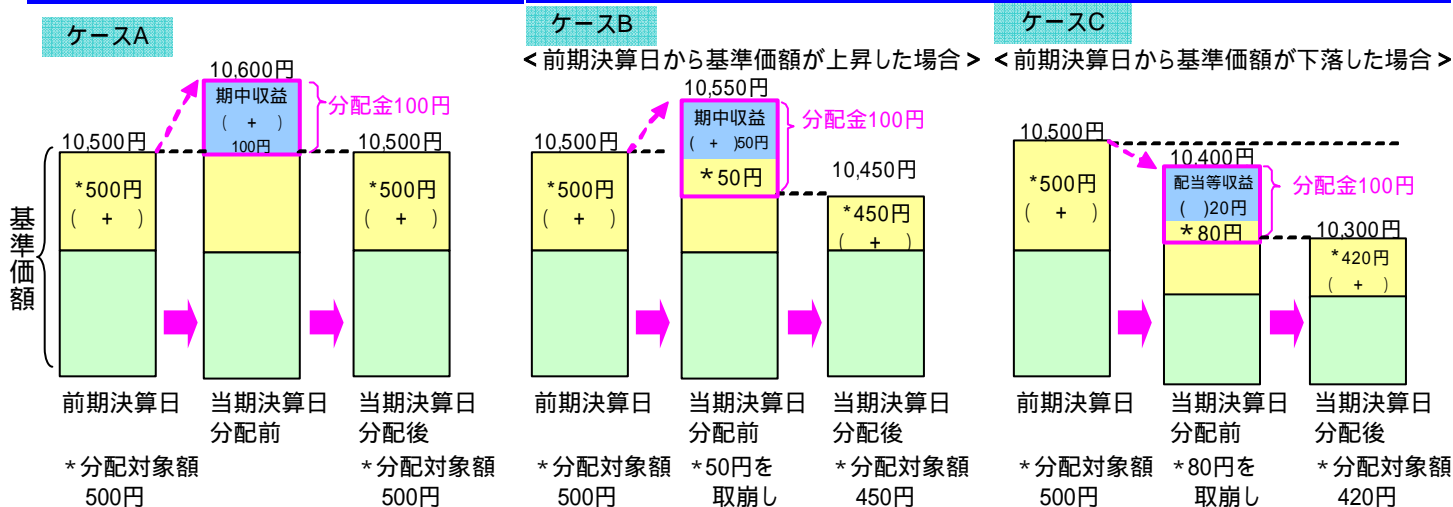
### 分配金額と基準価額の関係(イメージ)

分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

配当等収益(経費控除後)、有価証券売買益・評価益(経費控除後)、分配準備積立金、収益調整金

計算期間中に発生した収益の中から支払われる場合

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



ケースA: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差0円 = 100円  
 ケースB: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 50円 = 50円  
 ケースC: 分配金受取額100円 + 当期決算日と前期決算日との基準価額の差 200円 = 100円

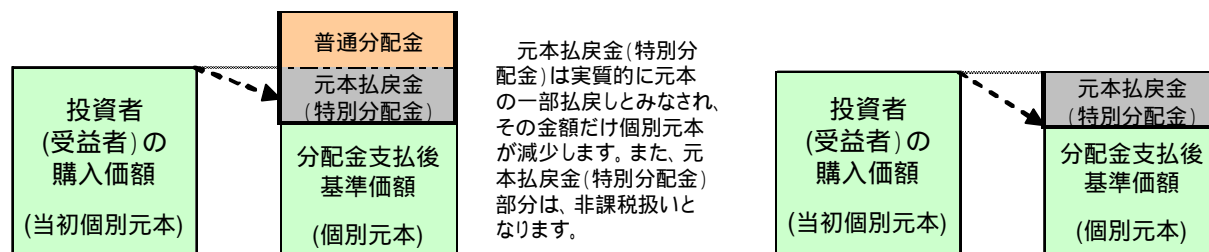
A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、基準価額の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の基準価額の増減額」の合計額でご判断ください。

上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではないのでご注意ください。

投資者(受益者)のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

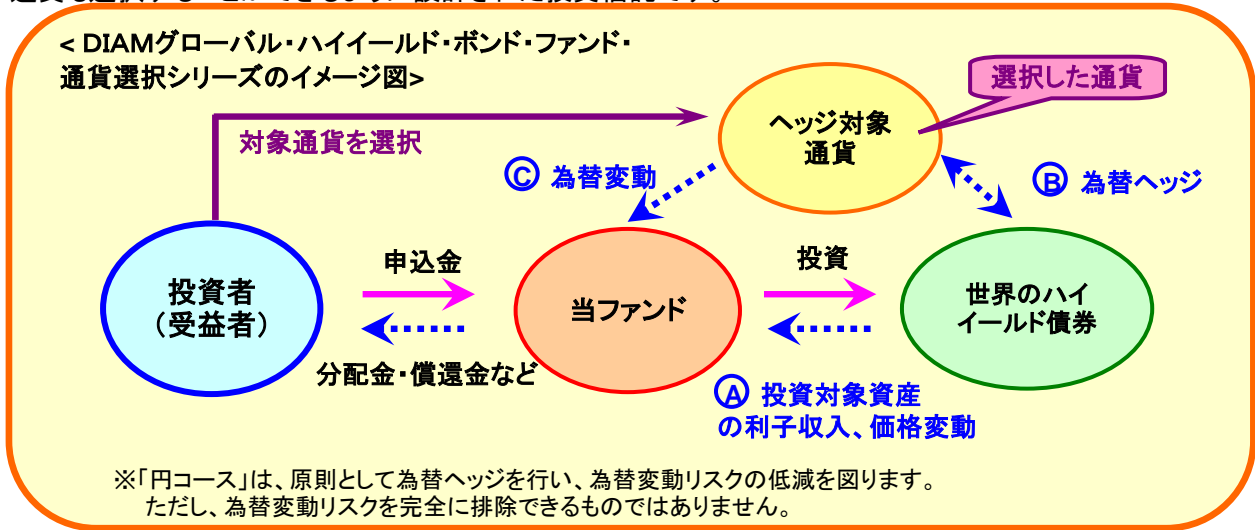
分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



**普通分配金**: 個別元本(投資者(受益者)のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。  
**元本払戻金(特別分配金)**: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者(受益者)の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。  
 (注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目録見書)をご確認ください。

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替ヘッジの対象となる円以外の通貨も選択することができるように設計された投資信託です。



- DIAMグローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・通貨選択シリーズの収益源としては、以下の3つの要素があげられます。

① 投資対象資産による収益(上図①部分)

- ・ 世界のハイイールド債券が値上がりした場合や利子が支払われた場合は、基準価額の上昇要因となります。
- ・ 逆に、世界のハイイールド債券が値下がった場合には、基準価額の下落要因となります。

② 為替ヘッジプレミアムによる収益(上図②部分)

- ・ 「選定した通貨」の短期金利が、「世界のハイイールド債券の通貨」(米ドル)の短期金利よりも高い場合は、その金利差による「為替ヘッジプレミアム」が期待できます。
- ・ 逆に、「選定した通貨」の短期金利のほうが低い場合には、「為替ヘッジコスト」が生じます。

※ 「選定した通貨」が新興国通貨の場合などは、金利差がそのまま反映されない場合があります。

③ 為替変動による収益(上図③部分)

- ・ 上図②部分とは異なり、上図③部分については為替ヘッジを行っていないため、「選定した通貨」(円を除く。以下同じ)の円に対する為替変動の影響を受けることとなります。
- ・ 「選定した通貨」の対円レートが上昇(円安)した場合は、為替差益を得ることができます。
- ・ 逆に、「選定した通貨」の対円レートが下落(円高)した場合は、為替差損が発生します。

- これまで説明しました内容についてまとめますと、以下のようになります。

収益の源泉	=	世界のハイイールド債券の 利子収入、値上がり／値下がり	+	為替ヘッジプレミアム ／コスト	+	為替差益／為替差損
収益を得られる ケース		金利の低下等 ↑ ハイイールド債券 価格の上昇		ヘッジ対象通貨の短期金利 > 米ドルの短期金利 ↑ ヘッジプレミアムの発生		円に対してヘッジ対象通貨高 (円安) ↑ 為替差益の発生
損失やコストが 発生する ケース		金利の上昇 ↓ ハイイールド債券 価格の下落 発行者の信用状況の悪化等		ヘッジコストの発生 ↓ ヘッジ対象通貨の短期金利 < 米ドルの短期金利		円に対してヘッジ対象通貨安 (円高) ↓ 為替差損の発生

※ 「円コース」は、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。

ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※ 市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

## 為替予約取引とNDF取引

為替ヘッジは、主に「為替予約取引」を用います。

しかし、一部の新興国通貨では…  
(中国元、ブラジルレアル、インドルピー、  
インドネシアルピアなど)  
**「為替予約取引」ができません。**

そこで

**NDF取引**を活用

【理由】

為替市場が未成熟であったり、当局が国外での自国通貨の流通を制限しているなどの理由で、本国以外で多額の当該通貨の保有、調達、決済などが難しいためです。

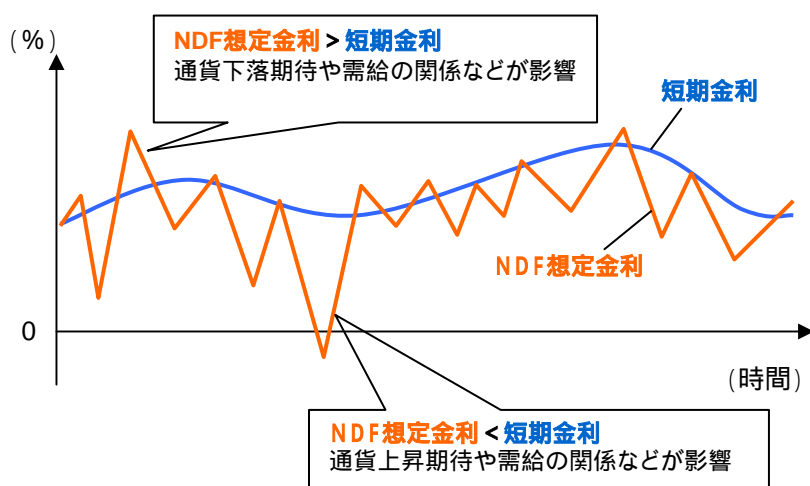
## NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引とは

直物為替先渡取引の一種です。主に金融機関との相対取引で、当該通貨の受渡しが発生せず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済を行います。

通常の為替予約取引と比べ、取引参加者が少ないことや、当局による金融・資本市場における制約などから、金利裁定(割高や割安を是正する市場のメカニズム)が働きにくいだけでなく、取引参加者の為替見通しを反映した需給の影響をより強く受けることがあります。

そのため、**NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離**する場合があります。

< NDF想定金利と短期金利が乖離する例(イメージ) >



NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)は、通貨に対する需給や通貨の上昇期待が反映され、マイナスになる程低くなる場合もあります。その場合、為替ヘッジプレミアムの減少や為替ヘッジコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

左記は、イメージであり、すべての事象があてはまるとは限りません。また、将来の水準を予測、または示唆するものではありません。

外国為替市場の混乱等によりNDFが利用できなくなった場合には、選択した通貨への投資ができなくなるなどファンドの運用方針に沿った運用ができなくなるリスクもあります。同様のことが通常の為替予約取引についてもいえますが、特にNDFは為替予約取引に比べて流動性が乏しくなることがあるため、そのリスクが高くなります。

上記の要因以外でも、投資対象資産の通貨の短期金利が上昇した場合は、為替ヘッジプレミアムが減少したり、為替ヘッジコストが生じる可能性があります。

上記は、NDF取引や為替市場に関する説明の一部であり、NDF取引および為替市場についてすべてを網羅したものではありません。  
(出所：各種情報に基づきDIAM作成)